

財団公益法人 8020 推進財団

平成 26 年度 歯科保健活動事業助成交付事業報告書抄録

1. 事業名：「ならしの生涯健口チェック」事業

2. 申請者名：習志野市歯科医師会 会長 村山 雄二

3. 実施組織：一般社団法人習志野市歯科医師会

4. 事業の概要：習志野市の歯科健診事業の対象外となった 81 歳以上の高齢者に対し、生涯にわたって口腔機能を含むお口の健康(健口)を維持するため、口腔内・口腔機能診査の他に舌の体操や唾液腺マッサージ等を指導した。また、健康寿命を延ばすためには、かかりつけ歯科医を持つ事により口腔機能を維持する事の大切さを啓蒙した。

5. 事業の内容：

- (1) 事業実施のための、健診票、リーフレット、実施要領等の策定のため会議を実施した。事業終了後に結果集計、傾向分析し今後に生かす方策を検討する会議を実施した。
- (2) 総会、各委員会等で、会員への説明会を実施し 70 歯科医療機関に協力を求めた。
- (3) 習志野市及び千葉県歯科医師会の後援を取り付け、習志野市の広報誌への掲載、広報リーフレットを用いて、習志野市及び当会のイベント、各種講習会、民間の社会福祉法人、ケアマネージャーの会合等で広報活動を行った。
- (4) 予算上の関係で、平成 26 年 9 月 1 日から 11 月 30 日までの期間限定で健診を実施した。口腔内診査、口腔機能検査の実施・結果説明及び口腔機能説明用パンフレットを用いた唾液腺マッサージ・舌体操等の指導を行った。154 件の受診があった。

6. 実施後の評価（今後の課題）：

81～84 歳男性 40 名、女性 54 名・85～89 歳男性 15 名、女性 32 名・90～97 歳男性 2 名、女性 11 名・計男性 57 名、女性 97 名・合計 154 名の受診があった。昨年より男性が 8 名増、女性 7 名増で合計は 15 名増であった。かかりつけ歯科医は 89.0% があり、むし歯は 24.0% があり、歯周炎は 72.1% があり、舌苔は 9.1% が中等度ありであった。かかりつけ歯科医を持つ人は高率だが昨年度より少なくなった。全員がかかりつけ歯科医を持つよう啓蒙したい。また、歯周炎の罹患率は依然として高い数値であり、歯みがきの意識が無い高齢者がおり、歯周治療や歯ブラシ指導等がかかりつけ歯科医が行うことは重要と思われる。歯や口の中で気になるところは、歯が 9.7%、歯ぐきは 21.4%、入れ歯は 27.9%、口臭は 2.6% となった。24.0% にむし歯が認められるのに、気にしている人は 9.7% なので、むし歯への関心が低く、痛くなければいいと思っている高齢者は多い。義歯の適合は不適合と歯科医師が判断したのが、11% に対し、入れ歯が気になる人は 27.9% と高率である。本人は噛めない、痛いなど不都合が多いようであり、歯科医師がもっと義歯に対してケアを行う必要性を感じた。残存歯数は 16.0、機能歯数は 24.1。口腔機能は、舌の動きは 6.5% がやや動きにくい、頬の膨らましは 8.4% が十分できない、発音は 8.4% が一部不明瞭。RSST は平均 4.2 回。どの年代でも飲み込む機能は低下が少ない傾向にあるようだ。歯科医院に健診に来られる人は、足腰がまだそれほど衰えていないので、健康寿命を維持できていると考えられる。唾液腺マッサージや舌の体操の様にわかりやすい運動は、好評であったが、舌のでのるでる体操は舌を口腔外に出す運動のため、自宅ではあまり実施されていないとの意見もあった。受診率は 2.1% と低く、昨年と同程度であった。次年度の当健診は中断となるが、今後は広域連合での 75 歳以上の歯科健診実施の中で高齢者の歯科健診事業を継続していきます。